

研修部担当者会合協議事項一覧表		
番号	議題 (提案者)	提案理由
1	研修部における今年度の事業計画をご報告下さい (座長)	各会の事業計画を確認し、業務を執行する上でその要点等を聞くことにより、今後の事業に役立てたいため。
2	今年度から始まった年次研修はどのようにして行っていますか。(福岡会)	他会がどのようにして取り組まれているか参考にするため。
3	全体研修会等をWEBの動画配信で行っている会は出席率(視聴率)を上げるためどのような取り組みをされていますか。(福岡会)	昨年度から研修会を動画配信形式にしましたが、出席率(視聴率)が集合研修方式ほど上がっていないため。
4	研修動画について (福岡会)	研修動画はどのようにして作っていますか。業者に依頼されているか、内部で撮影、編集使用されているか。また使用ソフトとか動画作成にかかる費用とか参考にしたいのでおたずねします。
5	単位会における全体研修会の企画運営をどのように行っていますか。(佐賀会)	コロナウイルスの全国的な拡大が続いており、講師等の依頼も躊躇している。どのような形式で研修会を行っておられるか参考としたい。
6	修得するCPDポイントについて、どのような活動に対して付与しているかお尋ねしたい。(佐賀会)	連合会主催の研修会や単位会の全体研修会等により、会員全体に向けた案内を出した研修等については出欠の管理もできているが、個人による学習については審査基準をどのようにすべきか考えている。
7	全体研修会の出席率向上に対する取り組みについて (佐賀会)	コロナ対策に伴うリモート研修実施の有無、新人からベテラン会員の参加意欲のバラツキに対する調整、その他出席率向上の対応策をどのように行っているか。資質・知識の向上を図る義務があるため出席率を上げ会員全体の底上げにつなげたい。
8	本年度より開催される年次研修について、どのように研修を行う予定なのか。またどのような準備を進めておられるかお聞きしたい。(佐賀会)	各会のグループディスカッション(研修)の進め方や不参加者への対応をお尋ねし年次研修運営の参考としたい。

9	<p>集合研修がなかなかできないなか、WEBでの研修会を行っていますか？どれくらいの頻度で行っていますか？また各会員が導入するにあたってWEB研修を促進するためのサポート制度はありますか？（沖縄会）</p>	<p>WEB研修を行うにあたって注意事項等あれば教えていただきたい。今後オンライン研修が普及してくるので、全体で使えるように取り組みをしていきたいため。</p>
10	<p>オンライン活用をテーマにした研修会を行ったことがある会はありますか？どのような内容で行ったか教えてください。例えばウィンドウズやマックはどちらがよい？こういった便利なソフトがある、とか業務で活用できるような事例を取り扱った事例があればお聞きしたいです。（沖縄会）</p>	<p>会全体でオンライン活用の意識を高める必要があるため。</p>
11	<p>オンライン研修が普及してくれば、場所や時間の制約がなくなるのですが、他県の研修会に参加することもできると思います。他県の研修会に参加することについてはどう思われますか？（沖縄会）</p>	<p>他県の取り組みや会へ関わっている方がどのように研修をしているか興味があるので、質問させて頂きました。</p>
12	<p>所有者等探索委員を現在20名推薦しているが、会員を対象とした研修を行っているか。（長崎会）</p>	<p>探索委員推薦を令和元年度15名、令和2年度に5名を追加しており情報の共有が必要ではないかと考え、他会の動向を伺いたい。</p>
13	<p>コロナ禍における新たな取り組みについて（長崎会）</p>	<p>コロナ禍における研修開催方法、講義の方法、CPDポイント獲得不足に対する新たな取り組みなどがあれば伺いたい。他県会も相互に参加可能なWEB研修会開催の参考にしたい。</p>
14	<p>コロナ渦の中、CPD研修をどのように開催されていますか。また、研修の映像資料の動画配信は行っていますか。動画配信をしている場合は、撮影や編集の方法配信編集を業者に頼んでいるか）、CPDポイント集計方法を教えてください。（熊本会）</p>	<p>コロナ下において集合研修が難しい中、会員にとってより良い方法での研修を企画・実行しなければならぬ為、他県の情報を知りたいです。</p>
15	<p>YouTube配信形式の研修をされている場合、当会と相互に乗り入れするようにはできませんでしょうか。（熊本会）</p>	<p>他県会のYouTube配信形式の研修をお互いの研修担当者が閲覧できれば、研修を企画するうえで参考にできますので、良いのではないかと考えました。</p>

16	年次研修は、毎年開催する予定か5年に一度開催する予定かを教えていただきたい。また、欠席者のために補講を行う予定がありますでしょうか。その他、独自の研修を考えられていますでしょうか。(熊本会)	当会では今年、第1回目の年次研修を行います。開催の仕方や補講については、手法が確立していないため、他の会の状況などを伺い参考にしたいと考えております。
17	測量実務研修を九州ブロック全体で行うことについて、仮に熊本会で行った場合、参加の要望はありますでしょうか。参加の要望がある場合は、共催という形式で費用の負担など可能でしょうか。(熊本会)	当会内で測量研修を計画してほしいとの要望もあり、開催するのであれば九州ブロック全体の測量研修として行うことができれば、会員同士の親睦にもつながり良いと考えました。(以前は開催されていたと思います。)
18	新人研修など行っているのか、行っておられるならば、その内容等を教えてください。(熊本会)	今般、当会では、測量等未経験のまま開業される会員が見受けられます。新入会員特に測量等未経験の新人に対しての研修など、どのような取り組みされているかを教えてください、参考にしたいと考えております。
19	筆界特定の調査員育成のための研修などの取り組みを教えてください。(熊本会)	今般、筆界調査員の成り手が不足してきているため、新たな調査員の育成が急務であると感じております。そこで、他県の状況、取り組みなどをお聞きして参考にしたいと思います。
20	研修案内文章の作成についてどのような内容のものを作成されているか教えてください。(熊本会)	研修会の参加者率が上がるよう案内文章の内容を工夫したいと考えており、お聞きして参考にしたいと思います。
21	補助者にむけた研修会をされている会がありますでしょうか。また、補助者研修をされている会があれば、講義内容などを教えてください。(熊本会)	補助者に向けた研修を検討するにあたり、他県で同様の研修をされていれば、内容等を教えてください参考に使いたいと思います。
22	各会の集合型研修とWEB配信研修の予定をお教えてください。(鹿児島会)	コロナ禍での研修会のあり方について伺いたいです。
23	WEB配信形式によるCPDの個別付与の手法についてお教えてください。(鹿児島会)	5/12のYouTube配信の際はGoogleフォームのアンケート機能で受講状況の管理を試みましたが、Googleフォームへの回答ができない、または回答できる環境がない等の意見があり現時点では公平性に欠けるとして断念しました。外に受講状況把握の良い手法がないかお伺いします。

24	WEB配信の環境がない会員についてのケアはどのような対策をとっているか教えてください。(鹿児島会)	当会は離島会員も多くWEB配信が安定すれば効果的なのですが、高齢会員の中には視聴する方法がわからない、そもそもネット環境が整っていない等ケアを必要とする会員も少なくありません。各会の対応をお教えてください。
25	コロナ禍での研修会開催の対応方法について(大分会)	コロナ禍において、全会員に平等に研修を受ける機会を提供する方法を検討していますが、独自に対応できている会があれば教えて頂きたい。
26	県外から講師が呼べない中での研修内容の工夫(大分会)	会の中で講師をお願いして対応するには、講師が偏りがちであり、内容も新しい技術や便利な知識などを紹介できず、魅力的な研修を計画できないため。
27	WEBを利用した研修で、配信を専門業者に依頼した場合のメリット、デメリットについて(大分会)	WEBに参加できない会員に対して、個別に対応する方法があれば教えて頂きたい。
28	年次研修について(宮崎会)	全体研修会が厳しい状況にあり受講対象者の指名など、研修会の開催方法をどのように工夫しているか知りたい。
29	過去に行った研修会のテーマ、今後予定しているテーマ(宮崎会)	毎回、研修テーマに苦慮している。他県の業務に関する問題点など参考にしたい。

《報告事項》

1	研修部における今年度の事業計画をご報告下さい
まとめ	どの単位会においてもコロナウイルスの影響によって昨年から全体研修会の中止等も余儀なくされた部分もあった。その対応としてWEB配信形式での研修会を開催している会もある。また、新しい事業計画として今年度から実施される年次研修が盛り込まれている。以前に比べてインターネットを利用したWEB配信研修などを新たな取り組みとして計画している会が増えた。
提案理由	各会の事業計画を確認し、業務を執行する上でその要点等を聞くことにより、今後の事業に役立てたいため。
福岡会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研修会の実施 全体研修会 2回、専門研修会 3回 2. 年次研修会の実施 3. 支部研修会の実施 4. 新入会員研修会の実施 5. 新人実務体験研修の実施 6. 補助者研修会の実施 7. CPD制度への対応
佐賀会	<ol style="list-style-type: none"> 1. CPD 制度の趣旨に基づいた全体研修会を年 3 回以上実施する。 2. 連合会及び他会が主催する研修会へ積極的に出席するよう要請する。 3. ビデオライブラリーの構築に努める。 4. 新型コロナウイルスの影響を考慮し、今後の研修会のあり方を検討する。 5. 連合会主催の年次研修を企画実施する。
長崎会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研修会の実施 2. 日調連、他県会、他団体主催の研修会の案内と参加支援 3. CPD 制度への対応 4. web 研修への対応 5. その他(支部研修会への対応)
大分会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研修会の企画・開催 <ol style="list-style-type: none"> ① 全体研修会の企画・開催 ② 連合会年次研修会の開催 ③ 支部研修会の開催 ④ 課題別研修会の企画・開催 2. 研修に対する情報公開及び管理 <ol style="list-style-type: none"> ① CPDポイントの管理・公開 ② 研修時間の管理・公開 3. その他 <ol style="list-style-type: none"> ① 九州ブロック担当者会同への参加 ② 日調連及び九州ブロックが開催する各種研修会等への参加及び参加者の募集
熊本会	<ol style="list-style-type: none"> 1. CPD 研修会の開催 (今年はWEB配信により開催、WEB配信に向いている題材を行なう) 2. 年次研修会の開催 3. 新人研修会の開催 4. CPD 研修利活用についての検討

	5. 内部講師の育成
宮崎会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研修会の実施 2. 業務取扱要領の解説と運用 3. 民法・不動産登記法の改正 4. オンライン会議等委員会活動によるシステム構築・整備拡充 5. 年次研修会実施に向けての対応
鹿児島会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員研修会、公開講演会の実施及び支部研修会等の支援 2. 産官学連携による研修会や出前講座等の実施及び支援 3. 特別研修の受講推進 4. 年次研修及び新人研修の受講義務の周知及び徹底 5. インターネットを利用した研修活動に係る環境整備の推進 6. 土地家屋調査士専門技能持続学習（CPD）制度の運用
沖縄会	<p>(1)業務に関する研究及び研修会の立案計画実施</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 全体研修会は、各部及び各支部とも連携のうえ計画実施する。 ② 研修会時にアンケートを実施し、今後の研修テーマ選定等に役立てる。 ③ 研修会の資料等を保管・公開していく。 <p>(2)九州ブロック協議会への対応</p> <p>(3)日調連への対応</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 全会員のCPD獲得ポイントを集計し、日調連へ報告する。 ② 日調連主催の指定研修会等への対応。 <p>(4)CPD獲得ポイントの情報公開について</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 広報部と連携し、ホームページ上で公開する。 <p>(5)その他</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 桐友会連絡会への対応

《協議事項》

2	今年度から始まった年次研修はどのようにして行っていますか。(福岡会)
まとめ	どの会においても本年度を初年度として年次研修を実施する予定である。開催期日や開催方法については各会異なるが、会員数が多い会では支部単位での実施を企画している会もあった。集合研修形式やWEB配信形式で開催するよう計画を立てており、実施内容としては連合会から与えられた映像資料等を利用し、グループ討論を行う場合には課題提出なども検討されている。
提案理由	他会がどのようにして取り組まれているか参考にするため。
福岡会	県会主導での動画配信、視聴報告方式。(視聴レポート及び課題提出) ただし支部単位での実施可。(補助金制度あり)での実施。
佐賀会	今年度(11月頃の予定)初めての開催を予定しています。密にならないような会場の設営も考えなければならず、理事間にて協議を進めているところです。現段階で、DVD視聴は

	座席間隔を確保し一部屋で行い、グループ討論については3部屋に分散して行いレポート提出してもらう予定です。
長崎会	令和4年1月下旬に開催予定です。対象会員は約40名。方式としてDVDの視聴につきWEBEXによるオンラインによる映像配信を行い、各個人事務所にて受講してもらいます。接続を確認し、出欠確認を行います。グループ討論は実施せず、討論課題の解答を提出してもらいます。
大分会	大分会では登録の順番別で3～4グループに分け3～4年で行い、1～2年の余裕を残せばと考えています。 現時点では映像教材の受講及びグループ討論共に感染防止対策を徹底した上で、対面で実施する予定ですが、WEB配信によるレポートの提出や課題配布による回答の提出も検討中です。
熊本会	今年度はコロナ対策を行ない集合形式で開催を予定しています。また来年度からは各支部単位での年次研修も検討しています。
宮崎会	5年計画で考え、会員190名を5グループに分けて、今年度は11月中旬に約40人規模で小会場での開催を予定しています。
鹿児島会	今年度は1支部（霧島支部34名）対象に11月中旬に開催予定です。来年度以降、各支部総会開催に合わせて同日年次研修を開催することを検討中です。
沖縄会	令和4年1月に開催予定しており、約35名に分けて集合型研修で開催予定しています。コロナの状況では次年度を予定しています。

《協議事項》

3	全体研修会等をWEBの動画配信で行っている会は出席率（視聴率）を上げるためどのような取り組みをされていますか。（福岡会）
まとめ	WEB研修に移行して出席率がおおきく向上した会はないが、配信研修は会員からの評判が良いようである。研修会参加の出席率向上を図るには会員が興味を持つような内容の研修の選定や、受講を促すメール配信の増強などの取り組みが必要である。
提案理由	昨年度から研修会を動画配信形式にしましたが、出席率（視聴率）が集合研修方式ほど上がっていないため。
福岡会	今年度からは受講を促すメール配信回数を増やしたいと考えている。
佐賀会	現在WEB配信を利用しての研修は行っていませんが、コロナの影響に直面し、導入を検討しなければならないと考えています。
長崎会	第一回をWEB配信にて行ったが出席率は、68%（197分の133）。離島支部は出席率が高い。興味を持ってもらうためには業務に直結する研修内容が求められていると思います。
大分会	昨年度、1度ですがWEB形式と人数制限を設けた集合形式を平行して実施しました。年度を通してやっと1度開催できたこともあって、出席率は従来とそう変わりませんでした。後日のアンケートでは評判は大変良かったです。今後とも大分会では当面、平行形式で行っていく予定です。
熊本会	WEB配信の研修の場合、感想とアンケートの返信で出席としているため参加率は上がっています。また研修に参加したくなるような開催通知の作成を計画中です。

宮崎会	今年の3月にWEB配信を初めて導入し全体研修会を行ったので、どの程度視聴されたかはわかりませんが、会員からの評判は良かった。
鹿児島会	1. ウェビナー配信研修の際、本番の数日前に事前配信テストを行い視聴できているか確認をしました。できない会員には技術的なサポートをしました。 2. 本番配信中に、不定期に数回アンケートを行うこと、その回答をもってCPDを付与することを予告しました。
沖縄会	当会では1度WEB研修を行いました。集合研修と同様の案内を行い、WEB研修参加へのハードルを下げるために事前に参加のための案内を行いました。

《協議事項》

4	研修動画について（福岡会）
まとめ	研修動画については撮影している会、撮影していない会など対応はまちまちである。研修動画を撮影している会は編集にたけた会員にお願いしたり、業者に依頼するなどして行われているが、動画の撮影や編集については技術が必要であり後継者などの問題もある。継続的に撮影や編集を行うには業者等に依頼することも視野に入れる必要があるが費用の問題がある。
提案理由	研修動画はどのようにして作っていますか。業者に依頼されているか、内部で撮影、編集使用されているか。また使用ソフトとか動画作成にかかる費用とか参考にしたいのでおたずねします。
福岡会	これまでは撮影、編集に長けた会員に依頼していましたが、今後の継続的観点から業者に依頼することも検討しております。
佐賀会	現在は講師の同意が得られたものに限りアナログで撮影をしていますが、画面を映しているのみで、特別な撮影や動画の編集などは行っていません。ですので、特段費用は掛かっていない状況です。
長崎会	WEBEXを2017年2月に契約し利用している。購入費が約64万円。月額14,300円。 令和3年度から映像配信業者を利用し一回ごと11万円を支払っています。 平成26年度から平成30年度まで研修動画を録画し、長崎会WEBサイトにて会員専用欄にアーカイブとしてアップしていました。時間が経過すると内容が古くなるため近年は録画及び保存、公開を中止しています。編集は「Any video converter free」を使用しサイズ圧縮していました。
大分会	研修動画は過去に一度作成致しましたが、フリップボードを映して説明の音声を入れたものでした。現在は作成していません。
熊本会	現在は試験的に業者に撮影、編集全て頼んでいます。
宮崎会	研修動画は過去に数回、講師の方から撮影許可を得られたときに撮影したが、記録として残しているだけで編集や貸し出しなども行っておりません。
鹿児島会	1. YouTubeライブ配信の際は終了後1週間YouTube上に公開しました。しかしその技術にたけた会員が一人だけであり今後後継者の育成が急がれると考えます。 2. 業者に外注してウェビナー配信を行いました。動画はレポートに残しましたが公開につ

	いては予算建てしていなかったためその回は公開しませんでした。
沖縄会	会として研修用の動画は作ったことはないのですが、今後の参考にさせて頂きたいと思います。

《協議事項》

5	単位会における全体研修会の企画運営をどのように行っていますか。（佐賀会）
まとめ	コロナの影響も有るかと思われるが、全会員が平等に講義を受ける機会を与えるため研修会はWEB配信形式や、集合研修とWEB配信を行うハイブリット形式での研修会が主流となってきている。WEB配信での研修会開催を導入するには予算などの問題もあり導入を躊躇している会もあるが今後の状況に応じて開催方法も多様な変化が伴うものと考えられる。
提案理由	コロナウイルスの全国的な拡大が続いており、講師等の依頼も躊躇している。どのような形式で研修会を行っておられるか参考としたい。
福岡会	動画を作成し期間を決めてWEB配信形式で行っています。会員からは感想を記載した視聴報告書の提出をもって出席としCPDポイントを付与しています。
佐賀会	従来の全体研修会のような集合研修として執り行うには厳しい状況にあるので、当会では出席人数に制限（自由参加型で会員の半数を目処に先着順にて受付）を設け、蜜にならないよう措置を講じた上で『会員向け研修会』として様子を見ながら開催している。ただし、自由参加とする以上CPDポイントについては付与していない。
長崎会	WEB配信によって行っています。講師の依頼は難しいので、業務部を中心として会員が講師となるよう準備しています。また、日調連の研修ライブラリ動画を配信するよう準備しています。
大分会	第5波において、当初予定した日時での第1回全体研修の開催は見送りましたが、人数制限を設けた集合形式と、WEB形式の同時並行の形式で、1回でも、2回でも実施できるようにその都度計画を変更しながら開催したいと考えています。
熊本会	少なくとも今年はWEB研修のみを実施予定
宮崎会	全体での研修会は当面できないため、オンライン研修会での配信を企画している。
鹿児島会	開催時期のコロナの状況を注視しながら、集合型、配信型、集合+配信の3パターンで企画していく予定です。
沖縄会	コロナ禍における研修は行っていませんでした。企画に関しては、常任理事会及び理事会においてテーマを起案したり、研修後にアンケートを取り、研修内容を検討しています。

《協議事項》

6	修得するCPDポイントについて、どのような活動に対して付与しているかお尋ねしたい。（佐賀会）
まとめ	どの会もおおむね『土地家屋調査士専門技能継続学習認定基準表』と照らし合わせ、基準に合致すればCPDポイントを付与している。また、支部研修や自己申告についても基準表に合致していれば同様に付与している。

提案理由	連合会主催の研修会や単位会の全体研修会等により、会員全体に向けた案内を出した研修等については出欠の管理もできているが、個人による学習については審査基準をどのようにすべきか考えている。
福岡会	対応表に基づいて行っている。
佐賀会	研修の資料等を添付した上で申告すれば、CPDポイントを付与すると会員に伝達したが、一切届け出はなく、自己研修においてCPDポイントを付与した実績はない。しかし、今後コロナウイルスがどのような状況となるかいまだ不透明であり、集合研修を自粛するとなると会員個人において自己学習等をする必要も出てくると考えています。そこで、CPD付与について基準を設けている会があればお聞きしたい。
長崎会	無料相談会や出前授業、書籍の購読に対しポイントを付与しています。自己研修について報告はあがっていません。
大分会	連合会、九B、単位会、支部以外の研修について、「土地家屋調査士専門職能継続学習 認定基準表」のと通りの基準で申告があれば付与しています。
熊本会	連合会の認定基準に合致していれば自己申告によりCPDポイントを付与しています。
宮崎会	昨年から今年にかけて、1回だけオンライン研修を行ったが、出欠の把握はしておらずCPDポイントについては付与していない。
鹿児島会	支部研修については支部からの報告に基づいてCPDを付与しています。自己学習について、申告があれば付与しますが県会からその旨伝達したことはないです。
沖縄会	CPDポイント付与については研修会の時に行っており、ホームページ上でアップしています。そのポイントがどう活用されるかというところまでは至っていません。

《協議事項》

7	全体研修会の出席率向上に対する取り組みについて（佐賀会）
まとめ	研修内容の選定については、どの会も旬の話題や業務に直結する内容など様々な分野における研修を選定し、若手からベテランの会員まで出席率向上に繋がるよう尽力されている。WEB研修に切り替えることによって会員相互の交流の場は減る恐れがあるが、遠方の会員も来場などの負担が減り出席しやすい環境づくりに繋がっている。
提案理由	コロナ対策に伴うリモート研修実施の有無、新人からベテラン会員の参加意欲のバラツキに対する調整、その他出席率向上の対応策をどのように行っているか。資質・知識の向上を図る義務があるため出席率を上げ会員全体の底上げにつなげたい。
福岡会	WEBでの動画配信形式に切り替えたので、受講を促すメール配信回数を増やしたいと考えている。
佐賀会	出席率の向上に繋がっているかは不明ですが、全体研修会等の案内文章の末尾に次回研修会予定の日程を記載するようにしています。基本的には会員の興味がある内容を選定すれば出席率は向上すると思いますが、どのような内容の研修会を企画してほしいか質問しても会員からの要望も少なく、現在の研修内容は技能講習に偏っている。
長崎会	WEB研修を進めていくことになると思います。会員同士の横のつながり、他支部との交流は減りますが現状では仕様がなと思います、開催曜日は平日開催です。土曜日でも出席率

	は変わりませんでした。業務に直結する内容が必要かと思います。
大分会	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、集合形式とWEB形式を同時に行う並行形式で1度リモート研修を実施しました。 ・ベテランの先生方は帰属意識が強いこともあり、また新人の先生方は緊張感をもっていることから出席率は良いのですが、中間の特に若手の先生方は仕事優先となっており、バラツキの調整は現在出来ていません。 ・WEB配信を同時に行うことにより、遠方の会員は受講しやすくなったと考えられ、その分の出席率は向上につながっていると思います。
熊本会	現在熊本会ではすべてWEB配信による研修を行なっています。また個人差があると思われる測量技術の研修は中級からは全体研修会でおこない、初歩的なものは青年会との共催で開催する予定です。
宮崎会	研修内容及び講師により参加人数が左右されるため、旬のテーマを心がけている。
鹿児島会	リモートで3回実施しました。年配の会員で視聴できない方には録画をした動画DVD販売・レポート提出を勧めましたが希望者はいませんでした。参加率向上についての悩みは尽きませんがなるべく興味を持てるテーマを毎回模索中です。
沖縄会	毎回参加しやすい内容を検討しています。集合型の研修となると遠方の方が参加しにくいデメリットもあるので、参加しやすいような会場設定も必要かと考えています。

《協議事項》

8	本年度より開催される年次研修について、どのように研修を行う予定なのか。またどのような準備を進めておられるかお聞きしたい。(佐賀会)
まとめ	議案2に記載のとおり。
提案理由	各会のグループディスカッション(研修)の進め方や不参加者への対応をお尋ねし年次研修運営の参考としたい。
福岡会	県会主導での動画配信、視聴報告方式。(視聴レポート及び課題提出)ただし支部単位での実施可。(補助金制度あり)での実施。
佐賀会	初めての取り組みであり、コロナの影響がある中どのように取り組むべきか考察している。DVD視聴については座席間隔を確保したうえで視聴し、グループディスカッションについてはグループごとに部屋を分断し実施する予定でいる。不参加者については猶予を設け、出来る限り次年度には受講してもらいたい。
長崎会	令和4年1月下旬に開催予定です。対象会員は約40名。方式としてDVDの視聴につきWEBEXによるオンラインによる映像配信を行い、各個人事務所にて受講してもらいます。接続を確認し、出欠確認を行います。グループ討論は実施せず、討論課題の解答を提出してもらいます。
大分会	3～4年で全会員に1度目の受講案内を行い、残りの1、2年で未受講者への2度目の案内を出す方法で現在検討中です。グループ討論については全グループ1つの部屋となりますが、コロナ対策をどう行うか及び討論の進行方法等も含めたマニュアルを作成する予定です。
熊本会	現在はコロナ対策を十分に行ったうえで集合形式での開催を予定しています。

	不参加者については次年度に受講してもらう。
宮崎会	5年計画で考え、会員190名を5グループに分けて、今年度は11月中旬に約40人規模で小会場での開催を予定しています。
鹿児島会	今年度はとりあえず1支部(34名)で試験的に行う予定です。会場を1建物内の研修室3部屋を確保し、広めの部屋で全体DVD視聴、その後部屋を分かれて蜜を避ける環境でグループ討論を行う予定です。
沖縄会	令和4年1月に開催予定しており、約35名に分けて集合型研修で開催予定しています。コロナの状況では次年度を予定しています。 欠席者に関しては次年度の研修に参加するように考えています。

《協議事項》

9	集合研修がなかなかできないなか、WEBでの研修会を行っていますか？どれくらいの頻度で行っていますか？また各会員が導入するにあたってWEB研修を促進するためのサポート制度はありますか？(沖縄会)
まとめ	九州ブロック内においては半数以上の会がWEB研修を導入しており、全てを配信形式で行う会、集合研修とWEB形式を平行してハイブリット形式で行う会などあるが主軸はWEB配信形式となっている。WEB形式移行に際し会員個人がどこまで対応できるのか、ネット環境設定など多岐にわたるサポートが必要な面も出てくると考えられる。現状としてDVD貸出や、集合研修とWEB形式の2本立てで対応している。
提案理由	WEB研修を行うにあたって注意事項等あれば教えていただきたい。今後オンライン研修が普及してくるので、全体で使えるように取り組みをしていきたいため。
福岡会	全体研修会は今後すべて動画配信形式で行う予定である。今年度は2回を予定している。(ネット環境がない会員へはDVD等での貸し出し)
佐賀会	当会ではWEB研修の実績がありません。ですが、今年度連合会からの要望・サポートもあり11月の全体研修会で栃木会に配信し合同研修を行うよう準備を進めています。要領を得ていないので、最初は地元の企業に依頼する予定です。
長崎会	平成25年度から離島支部(五島、壱岐、対馬)を対象にWEB研修を行っています。出席率は約80%。一ヶ所に集合してもらう。本会から対馬支部から映像受信のためのパソコン1台購入補助の要望があり、本会が「支部研修への対応」として補助を行った経緯があります。
大分会	昨年度は1回、集合形式とWEB形式の平行形式で行いました。今年度は現時点では2回開催できればと考えています。 また昨年度、WEBEXを利用して受講できるよう、要望があった支部に本会から研修に行きました。独自にカメラとマイクを購入して配布した支部もありました。今後支部での会議や研修でWEBEXを使いたいという意見がありますので、操作マニュアルを作成して、貸し出すことを予定しています。
熊本会	昨年度よりWEB研修のみを行っています。現在撮影、編集を外注しているため例年より研修費が上がっています。特にサポートが必要という連絡はありません。
宮崎会	事業計画として年3回の研修を予定しているが、今年度もすでに1回目を中止とした。サポ

	ート制度は設けておりません。
鹿児島会	2回 YouTube 配信、1回ウェビナー配信しました。年2回のペースです。サポート体制として、事前確認テスト実施の際にできない旨申し出た会員には電話対応及び近ければ出張サポートしました。デスクトップ PC にスピーカーがない等、スピーカーの購入またはイヤホンの利用を勧めました。今後多くの課題が予想されますが、今まで集合研修自体不参加の会員は配信も視聴していない会員と重複している傾向が高いです。かといって技術不備や意欲の低い会員を切り捨てるのはいいのか、同じ会費を納めてもらっているからには一人の取りこぼしもないように努めるべきとの意見もあります。
沖縄会	WEB 研修を受けるうえでの環境設定や知識が必要かと考えています。もしそのような環境が整えられなければ、近くの会員と一緒に研修を受けれるようにするか等、準備することが必要だと思っています。現状沖縄会でも WB 研修は1度しか行っていませんので、今後の課題としたいと思っています。

《協議事項》

10	オンライン活用をテーマにした研修会を行ったことがある会はありますか？どのような内容で行ったか教えてください。例えばウインドウズやマックはどちらがよい？こういった便利なソフトがある、とか業務で活用できるような事例を取り扱った事例があればお聞きしたいです。(沖縄会)
まとめ	オンライン活用をテーマとした研修については殆どの会が行っておらず、基本的なスキルアップや知識向上は研修受講者自身の努力に委ねられている。IT活用についての研修会は今後の必要性も考えられる。
提案理由	会全体でオンライン活用の意識を高める必要があるため。
福岡会	当会ではシスコWebexを導入しており、研修会や部会、理事会等で使用している。(支部役員会等への貸し出しもやっている)
佐賀会	以前当会の業務部にてオンライン申請のメリットを伝達しました。以降も法務局に依頼したり、メーカーに講師を依頼したり、活用促進に繋がるような講義は行いました。最終的に登記・供託オンライン申請システムを活用している会員やメーカーのソフトを活用している会員などまちまちです。その他には特別な研修を行っていません。
長崎会	オンライン活用をテーマとしたことはありません。
大分会	IT活用などをテーマにした研修会はありません。 今後DX(デジタルトランスフォーメーション)などの研修を行いたいと考えています。
熊本会	クラウドを使ったバックアップ方法を今年度開催予定です。
宮崎会	今年初めてオンライン研修を試験的に導入し、まだ手探り状態であります。
鹿児島会	オンライン導入のための研修も検討中です。OSの比較検討はしたことはなく、配信手法は今後ウェビナーに一本化の予定です。あと、マイクロソフトのチームズというサービスもウェビナー機能と同等で、Office365ライセンスがあれば無料で使えるらしいです。こちらも機会があれば学んでみたいと思います。ハード面では講師・司会用のUSBマイク及びコンパク

	トスピーカー、講師確認用のモニターがあれば便利だと思います。
沖縄会	各会員の IT に関する知識やスキルが必要となるため、WEB 研修を受ける前提としての講習が必要となると考えていますが、現状沖縄会でもできてないので参考にさせてください。

《協議事項》

1 1	オンライン研修が普及してくれば、場所や時間の制約がなくなるのですが、他県の研修会に参加することもできると思います。他県の研修会に参加することについてはどう思われますか？（沖縄会）
まとめ	他県会のオンライン配信研修について、参加者の集計や講師著作権などの問題もあり、CPD 配点方法や開催方法などは各単位会での協議も必要であるが、他県主催のWEB 研修への参加自体は賛成との意見が多かった。主催会と研修講師相互の承諾が取れば今後の開催も期待できるがCPDの集計など解決しなければならない問題は出てくる。
提案理由	他県の取り組みや会へ関わっている方がどのように研修をしているか興味があるので、質問させて頂きました。
福岡会	今のところは考えていない。
佐賀会	良い取り組みだと思います。講師等依頼も難しい中ですので、情報共有しながら他県の研修への参加、ネット配信など利用して研修を受けることが出来るようになれば、会員の資質向上にも繋がると思います。
長崎会	他県会への研修への参加が事業計画にあります。現地参加を前提としています。他県会からのWEB参加は今後検討します。他県会の研修会への現地参加につき交通費1回1万円の補助を行っています。年間予算は10万円。報告書を提出してもらい、WEBサイトで活動報告として会員が閲覧できるようにしています。
大分会	他県の研修会に地元で参加できるのであれば、是非とも参加したいと考えます。ただ、外部講師などをお願いしている場合、著作権などの権利関係が問題になりそうな気がします。
熊本会	他県会や講師の承諾が得られれば、参加させてもらいたいです。
宮崎会	今までは担当の役員が他県開催の研修会に足を運び参加していたが、移動時間と労力を考えるとメリットしかないのでは積極的に参加したい。
鹿児島会	ウェビナーに限れば、CPD 管理数が他会参加者の分までとなると集計作業時間が長くなり、研修委員、事務局の負担増につながらないか少し不安を感じますが、他会の研修を気軽に受けられるメリットの方が大きいと思いますので相互参加には賛成です。
沖縄会	開催するとなると負担も多くなると思いますが、県をまたいで交流できるため、良い刺激になるかと考えています。

《協議事項》

1 2	所有者等探索委員を現在20名推薦しているが、会員を対象とした研修を行っているか。（長崎会）
まとめ	単位会において所有者等探索委員を対象とした研修についてはほとんどの会が行って

	いないのが現状であるが、今後の動向によっては研修等実施を検討することも考えられる。
提案理由	探索委員推薦を令和元年度15名、令和2年度に5名を追加しており情報の共有が必要ではないかと考え、他会の動向を伺いたい。
福岡会	業務部の所管なので研修部としては行っていません。
佐賀会	佐賀会では支部毎に探索委員を数名程度選任しているが、所有者等探索について研修会は行ったことはありません。日常業務においても隣接者境界確認の時に所有者不明という案件は多々あるので今後の研修会のテーマとしても検討したいです。
長崎会	探索委員経験者から一度情報を取得し、常任理事会で共有したのみ。現状では研修会の開催は難しいとみている。法務局で主催いただくよう要望提出を今後検討していきたい。
大分会	昨年度の全体研修会で全会員を対象に概要から作業の流れまでの研修を行いました。
熊本会	所有者等探索の業務が続くならば研修を検討したい。
宮崎会	行っておりません。他県会の取り組みを勉強し今後の対応も検討したい。
鹿児島会	現時点行ったことはありません。
沖縄会	現在、所有者探索委員の研修は行っておりません。参考にさせて頂きたいと思います。

《協議事項》

13	コロナ禍における新たな取り組みについて（長崎会）
まとめ	新しい取り組みとして（コロナ対策も兼ねて）WEB配信形式やハイブリット研修を導入し研修会を開催している会が殆どであった。WEB研修を行っている会は撮影や配信をおおむね独自に行っているが、動画配信については役員の負担軽減のため業者への依頼を検討している。CPDポイントについては接続確認にて付与、またはアンケートへの回答などによって付与するなど対応は様々であった。ポイント不足者が出ないように工夫はされているが、単位会によってそれぞれ様子は異なる。
提案理由	コロナ禍における研修開催方法、講義の方法、CPDポイント獲得不足に対する新たな取り組みなどがあれば伺いたい。他県会も相互に参加可能なWEB研修会開催の参考にしたい。
福岡会	全体研修会及び年次研修会を動画配信形式に変更した。
佐賀会	議案5に記載のとおり、コロナによって人数制限や自由参加とするなど形式を変えて実施しましたが、CPD付与は難しく、目標ポイントの取得は全く達成できない状況です。他県会のご意見を聞いたうえで今後の企画等の参考とさせていただきたい。
長崎会	長崎会は令和3年度第1回研修会で個人事務所への配信・受講を行った。内容は日調連作成の「業務取扱要領」のDVD映像配信。 会員からの反応はおおむね良好である。会場まで移動しなくて済む。双方向で質問したいなどが寄せられた。講師について県外の外部講師に依頼するのは難しいと判断している。
大分会	大分会では集合形式とWEB形式を同時並行で行い、講義は全て当会の会員を講師として行って行っていました。CPDポイントの獲得不足については、今が平時ではないので目標値を達成

	できない計画や実施になってもやむを得ないと考えています。
熊本会	WEB 研修に切り替え、不足した CPD ポイントについては、連合会の e ラーニングの中から有益と思われる講義を紹介しています。
宮崎会	全体での研修会は当面できないため、オンライン研修会での配信を企画している。CPD ポイント獲得不足については理事会等で検討予定であります。
鹿児島会	ウェビナーによるアンケート方式で受講状況管理し、それをもとに CPD 付与しています。おおむね好評で今後集合型は不要との意見までありました。しかしアンケート投票については少し席を外した間に終わっていた、定刻より早く終了したため投票を見逃したなど苦情も数件ありました。まだ双方向はしていませんが、今後質疑応答も取り入れたいと思っています。外部講師については遠隔での配信対応可能な講師である場合はお越しいただかなくても配信できるように技術を学びたいと思います。
沖縄会	集合型研修を開催できていないので、今後の状況を考えながら、WEB 研修を検討中です。

《協議事項》

14	コロナ渦の中、CPD 研修をどのように開催されていますか。また、研修の映像資料の動画配信は行っていますか。動画配信をしている場合は、撮影や編集の方法配信編集を業者に頼んでいるか)、CPD ポイント集計方法を教えてください。(熊本会)
まとめ	議案 5、13 に記載のとおり。
提案理由	コロナ下において集合研修が難しい中、会員にとってより良い方法での研修を企画・実行しなければならない為、他県の情報を知りたいです。
福岡会	動画配信を行っている。撮影、編集は長けた会員に依頼していましたが、今後の継続的観点から業者に依頼することも検討しております。
佐賀会	コロナが蔓延して以降、CPD 研修は実施できていないのが現状です。今まで研修の映像については著作権等の問題もあるため、講師の承諾を得られたものに限り撮影し、USB 等にて貸し出すなどしていましたが、動画の配信等も今後の課題となっています。
長崎会	すべて WEB 配信で行う予定です。講義の様態を生配信します。以前は研修部員や機器の接続に詳しい会員が担当していましたが、個人への負担が大きいため、映像のリアルタイム配信は業者に依頼します。CPD ポイント付与は、事前に出欠提出と当日の接続確認「ユーザー名と会員番号」で付与しています。アンケートや感想の提出は求めていません。
大分会	コロナ禍における映像資料の動画配信は、まだ行っていません。
熊本会	当会では、集合研修を行わず、YouTube 配信形式の研修を行っています。編集、アップまで当会内部で行っているため今後は、業者に依頼することを検討しています。CPD ポイント集計は研修画像配信後に当会で準備したアンケート形式の書面をメール、FAX で提出していただいた会員に CPD ポイントを付しております。
宮崎会	今年初めてオンライン研修を試験的に導入し 1 回だけオンライン研修を行ったが、出欠の把握はしておらず CPD ポイントについては付与していない。
鹿児島会	配信中にリアルタイムにアンケート送信しその回答をもって CPD に反映させています。まだ試験段階で、今後多くの意見が寄せられることが想定されます。

沖縄会	1度WEB研修を行い、その際は研修内容、WEB配信等含めて業者にお願いしました。CPDに関しては主催者側で参加人数を把握し、参加者にCPD付与する形で行いました。
-----	-----------------------------------------------------------------------------------

《協議事項》

15	YouTube配信形式の研修をされている場合、当会と相互に乗り入れするようにできますでしょうか。(熊本会)
まとめ	現在のところ九州ブロック内でYouTube配信形式での研修を実施している会はないようであるが、今後の取り組みの一つとして検討が必要である。
提案理由	他県会のYouTube配信形式の研修をお互いの研修担当者が閲覧できれば、研修を企画するうえで参考にできますので、良いのではないかと考えました。
福岡会	今のところは考えていない。
佐賀会	当会では実績ありませんが、他県の研修に参加できる機会が増えることは非常にいい試みだと思います。
長崎会	他県会への研修への参加が事業計画にありますので参加したり、参加されたりすることは進めていく方向が良いと思います。
大分会	当会ではYouTube配信形式での研修は行っていませんが、是非とも閲覧させていただき、今後の参考にさせて頂ければと思います。
熊本会	現在行っていませんが、今回の回答を持ち帰り、検討したいと思います。
宮崎会	行っておりませんが他県会の取り組みを勉強し今後の対応も検討したい。
鹿児島会	持ち帰り検討させてください。
沖縄会	YouTubeの動画配信を行っていませんが、各会で動画の情報共有ができれば研修材料として活用できるのではないかと思います。

《協議事項》

16	年次研修は、毎年開催する予定か5年に一度開催する予定かを教えていただきたい。また、欠席者のために補講を行う予定がありますでしょうか。その他、独自の研修を考えられていますでしょうか。(熊本会)
まとめ	第1期の年次研修を5年で全会員に受講させなければならぬため、会員への周知や補講をどのように執り行うかが大きな課題となる。開催時期や受講者数も異なるため現段階では実際に開催してみないと見えない問題もある。「4年間で全会員に受講させ、最後の1年を補講期間とする」といった案もあった。
提案理由	当会では今年、第1回目の年次研修を行います。開催の仕方や補講については、手法が確立していないため、他の会の状況などを伺い参考にしたいと考えております。
福岡会	県会主導での動画配信、視聴方式(視聴レポート及び課題提出)。ただし支部単位での実施可。(補助金制度あり)での実施。第1期の最終年度を未受講者の補講年に充てている。
佐賀会	出来る限り5年以内に全会員が第1回目の年次研修を終えるよう企画を進めています。基本的に欠席者は次年度に必ず受講してもらおうよう指導したいと考えています。

長崎会	毎年の開催を予定しています。グループ研修の班割の負担軽減のため。 欠席者のための補講は令和3年度から令和6年度までは翌年受講とし、令和7年度は最終年度のため開催日を二日設ける予定です。独自の研修は考えていません。
大分会	当会も当初、会員を登録年度順に5組に分けて、5年かけて全会員に受講してもらう予定でしたが、5年目受講の会員に対して受講期間の余裕がない旨の意見がありました。そこで3～4組に分けて3～4年で開催し、残りの1、2年を未受講者のために充てたいと考えていますが、今回の担当者会同で他会の取り組み方も参考にさせて頂き、今後決定したいと思っています。
熊本会	今年度は、本会で60名程度の受講者を人選し、本会の準備した研修会場で研修を行う予定です。5年で当会の全会員が受講できるよう段取りする計画です。補講については、1回目の参加・欠席状況を見ながら検討したいと考えております。
宮崎会	宮崎会は会員が約190名で、5年計画で考え、会員190名を5グループに分けて、今年度は11月中旬に約40人規模で小会場での開催を予定しています。今年度は40人規模で年次研修を開催する予定です。補講については検討したいと考えております。
鹿児島会	まだ検討中です。支部総会と同時開催も考えています。特に離島については会員に来てもらうよりもこちらから運営委員を派遣したほうが負担減になると思います。補講については本格始動してから検討していきます。
沖縄会	令和4年1月に開催予定しており、約35名に分けて集合型研修で開催予定しています。コロナの状況では次年度を予定しています。 欠席者に関しては次年度の研修に参加するように考えています。

《協議事項》

17	測量実務研修を九州ブロック全体で行うことについて、仮に熊本会で行った場合、参加の要望はありますでしょうか。参加の要望がある場合は、共催という形式で費用の負担など可能でしょうか。(熊本会)
まとめ	新人会員や特に経験の浅い会員に測量実務研修を案内できる機会が増える事は会員個々の技術の向上にもつながると考えられる。開催費用の負担については各会ともに協議してみないと現段階では回答しかねるが、前向きに検討したいとの回答であった。
提案理由	当会内で測量研修を計画してほしいとの要望もあり、開催するのであれば九州ブロック全体の測量研修として行うことができれば、会員同士の親睦にもつながり良いと考えました。(以前は開催されていたと思います。)
福岡会	今のところは考えていない。
佐賀会	熊本会で以前開催されていた測量実務研修は良い取り組みだと思っていました。ご案内いただければ、新人だけでなく一般会員にも是非案内を出し出席を促したい。参加者は単位会で取りまとめ、会費制としてはいかがでしょうか。
長崎会	長崎会からも参加される方はおられると思います。費用は九州ブロックとして負担されるのが良いのではないかと思います。
大分会	新入会員との会話の中で測量研修の話題になることがありますが、単位会での開催は容易ではないと考えています。貴会の提案について、参加を希望する会員の人数の問題や、共済のや

	り方などの問題もありますが、前向きに検討したいと思います。
熊本会	まだ企画の段階です。内容、講師など検討をする必要があり、参加者数や参加希望者層などのニーズのデータを収集したうえで、計画をしたいと考えています。
宮崎会	技術向上のためにも、九州ブロック全体でするのは良いと思います。
鹿児島会	常任理事会では特に要望はありませんでしたが希望する会員がいないか問いかけはしてみたいので開催情報は頂けたらと思います。
沖縄会	測量実務研修に関しては良い企画だと思います。経験の浅い会員に関して要望はあるかと思いますが、会としての負担は検討できておりませんので、持ち帰り判断になります。

《協議事項》

18	新人研修など行っているのか、行っておられるならば、その内容等を教えて頂きたいです。(熊本会)
まとめ	九州ブロック内では、ほとんどの会で定期的に新人研修が実施されている。内容としては業務を行ううえで必要な知識や座学の研修を主体として行っており、実務研修としてベテラン土地家屋調査士事務所を紹介・斡旋するなどして配属研修を行っている会もある。新人会員だけでなく測量等未経験者や調査士業務未経験者も含めて研修を開催している会もある。
提案理由	今般、当会では、測量等未経験のまま開業される会員が見受けられます。新入会員特に測量等未経験の新人に対しての研修など、どのような取り組みされているかを教えて頂き、参考にしたいと考えております。
福岡会	連合会の新人研修と重ならないカリキュラムで行っています。 また当会では土地家屋調査士有資格者で2年以内に登録・入会を予定している方等を対象に当会が講師として選任した土地家屋調査士の事務所での配属形式の研修をおこなっております。
佐賀会	当会ではここ数年、入会者数や登録数が極端に少ないため、特段新人に向けた研修は行っておりません。入会者があった場合には総務部にて対応していますが、研修や業務指導などは近年実績がない状況です。現在はベテラン事務所を紹介するなどして職場体験させるなど対応しています。入会者数が少ないとはいえ4～5年に一度程度は開催も必要ではないかと考えています。
長崎会	4年に1回行っています。入会4年未満を対象。 平成30年度は座学のみ、倫理マナー、調測要領（土地、建物）、法務局実地調査要領、事務所経営（宮城会鈴木修会長）、筆界特定と境界鑑定、ADR、座談会（失敗に学ぶ） 平成26年度は座学と基準点測量実習を行いました。測量座学、測量実習、調測要領（土地、建物）、倫理品位、筆界特定、ADR、座談会。
大分会	前任者から聞いた話では、昨年度は2日間かけて座学の新人研修を自前で行い、測量研修については熊本会に合流させて頂く予定だったと聞いています。昨年度はコロナの影響で流れてしまいましたが、今年度も来年早々に座学として法令から立会や筆界特定などを研修する予定ですが、実施できるかどうかは不透明です。

熊本会	測量等未経験者をメインにした、測量研修を企画中です。実際に測量し、計算、図面化、点検など一連の流れを研修内容としたいと考えております。また数年前から新人実務研修制度を作り、希望する方に研修先を斡旋しています。
宮崎会	県会で新人研修は行っていない。各支部で対応している。
鹿児島会	1年おきに開催しており今年度開催予定です。まだ内容については未定で他会の情報を頂きたいと思っております。
沖縄会	新人研修会としては、下記内容で行っています。 各種保険制度、ADR、本会のホームページの活用方法、オンライン申請、倫理、懲戒事例について、調査測量全般について座学行っています。実地で測量研修までは行えておりません。

《協議事項》

19	筆界特定の調査員育成のための研修などの取り組みを教えてください。(熊本会)
まとめ	筆界特定はおおむね業務部の所管であるが、調査委員に向けた研修については法務局と連携し定期的に行われている会有一些ある。どの会においても研修等の必要性は感じている。新人研修で筆界調査委員候補者講座を行い、意識付けをしている会もあった。
提案理由	今般、筆界調査員の成り手が不足してきているため、新たな調査員の育成が急務であると感じております。そこで、他県の状況、取り組みなどをお聞きして参考にしたいと思っております。
福岡会	筆界特定は、業務部所管であるが、本年度の新人研修にて筆界調査委員候補者講座を行い、筆界特定の調査委員になってもらえるよう意識付けするための組織論及びグループミーティングを行う予定である。また業務部事業として筆界特定インターンシップ（法務局に了解をとって、実際の筆界特定の現場に同席し、筆界特定がどのようなものかを理解してもらう。）を行っている。
佐賀会	調査員育成を目的とした研修は行っていませんが、全体研修のテーマとし、講師は法務局職員をお願いしています。
長崎会	推薦委員会で決定。支部長から推薦。研修等は法務局主催で過去行った。現在は行っていない。
大分会	担当部である業務部が法務局と連携で調査員に向けた研修は定期で行っています。制度ができた前後は、一般会員に向けて度々研修していたようですが、その後に入会された会員への研修は全く行っていませんので、大分会でも全会員を対象にした研修が必要であると考えています。
熊本会	筆界調査員に向けた研修会は、法務局と連携を取り行っておりますが、最近、一般会員に向けた筆界特定に関する研修を行っておりませんでしたので、法務局担当者を講師としてお招きし、一般会員に向けた筆界特定に関する研修を行うべく、協議をしているところです。
宮崎会	法務局が講師をして全体研修をしたことはあります。今後も定期的開催を検討したい。
鹿児島会	調査員育成を目的に企画はしていませんが、境界鑑定の研修は計画しておりその中で調査員候補者の育成につなげていきたいと思っております。
沖縄会	筆界特定の研修は過去に法務局主催の研修はありましたが、現在、会としての研修は行っていません。今後法務局と協議必要かと考えています。

《協議事項》

20	研修案内文章の作成についてどのような内容のものを作成されているか教えて頂きたいです。(熊本会)
まとめ	研修会の案内文章はどの会も定型のものを用いて作成している。研修会はメール等にて案内文章を送信し事前に予告したうえで開催している。会員に配信する研修会案内文章も工夫一つで出席率の向上に繋がる可能性を秘めている。各会の研修案内文章を集約し全会に配信したため情報共有ができた。
提案理由	研修会の参加者率が上がるよう案内文章の内容を工夫したいと考えており、お聞きして参考にしたいと思います。
福岡会	他会の案内と特に変わったところはない様に思う。
佐賀会	別添のとおり、日程、研修内容、次回研修会開催予定日等を記載のうえ案内を出しています。
長崎会	テーマの趣旨を記載しています。
大分会	特に検討したことはありませんでしたが、今後ぜひ検討したと考えます。
熊本会	定型的な文章を使用し、内容だけ変えているだけで、特に工夫しているところはありません。今後は、検討をしていきたいです。
宮崎会	定型的な文章を使用し、内容だけ変えているだけで、特に工夫しているところはありません。今後は、検討をしていきたいです。
鹿児島会	当会も定型的な内容のみで配信型開催については視聴方法及び環境整備についての説明に終始している状況です。連合会主催の新人研修及び特別研修の受講募集については案内文書に積極的な参加を促す文面も盛り込んでいます。
沖縄会	開催の案内文と次第を作成しています。案内文には日時、場所、内容、対象者等を記載しており、次第に関しては、当日の流れを記載しています。参加率が上がるような文章の工夫はできておらず、電話にて直接お願いしています。

《協議事項》

21	補助者にむけた研修会をされている会がありますでしょうか。また、補助者研修をされている会があれば、講義内容などを教えて頂きたいです。(熊本会)
まとめ	補助者に向けて研修を実施している会においては、調査士業務を行ううえで必要な知識を盛り込んだ研修を行っている。研修を実施していない会は調査士会員同行のうえ集合研修等への参加を認めるなどして対応している。
提案理由	補助者に向けた研修を検討するにあたり、他県で同様の研修をされていれば、内容等を教えて頂き参考にしたいと思います。
福岡会	講義内容は補助者に関することを重点に1. 業務取扱要領について2. 戸籍謄本等職務上請求書について3. 懲戒事例について4. 土地家屋調査士ガイダンスとなっております。
佐賀会	補助者についても通常業務を行ううえで測量等の技術だけでなく、基本的な倫理や知識も必要であると考えています。ただし、補助者のみに向けた研修会は行っておらず、当会では調査士本人と同伴での全体研修会等への参加を認可しています。

長崎会	平成28年度に補助者を対象とした研修を行いました。内容は懲戒事例、倫理、職務上請求書。 通常の全体研修会では、本職の同行を条件に補助者の参加を認めています。当会補助者規則第11条に補助者研修についての条項があります。
大分会	全体研修の補助者同伴による参加可能な案内は過去に何度か行いましたが、補助者を対象とした研修は行ったことはありません。
熊本会	以前から補助者研修の話が持ちあがっているが、実行できずに現在に至っております。
宮崎会	補助者研修は実施しておりません。補助者を雇用している調査士に委託し、支部研修等の積極的参加を促している。
鹿児島会	集合型研修では会員同席の上補助者の同伴も認めています。特に補助者対象の研修は予定していません。
沖縄会	補助者研修に関しては行えておりません。

《協議事項》

22	各会の集合型研修とWEB配信研修の予定をお教えてください。(鹿児島会)
まとめ	九州ブロック内ではWEB配信による研修会が主流となっており、開催時期や開催方法は単位会によって異なるが、WEB研修は開催時期も自由に選定出来、コロナ禍でも安定して研修会が行える。
提案理由	コロナ禍での研修会のあり方について伺いたいです。
福岡会	動画配信、視聴報告方式により行っている。
佐賀会	現段階でWEB配信での研修会は予定にありませんが、11月の全体研修会で当会から配信し他県会との合同研修の企画を進めています。配信につきましては連合会にサポートしていただきながら開催する予定ですので今後につなげたい。
長崎会	全体研修会3回すべてWEB配信で行う予定です。音声について会場の音をアンプを通じてパソコンに取り込んで流していた。特に聞き取りにくいことは無かった。
大分会	現時点で、大分会では令和3年11月13日第1回全体研修会、令和4年3月5日第2回全体研修会を、集合形式とWEB形式の同時並行形式で、実施を予定しています。
熊本会	10月中旬に2本WEB配信により研修会を開催予定です。
宮崎会	当会は一昨年まで全て集合型研修でしたが、昨年より「オンライン会議等委員会」を立ち上げWEB配信研修に向けてシステム構築中であります。
鹿児島会	5/12にWEB配信と定員に上限を設けた会場受講可とする併用型で開催しました。YouTubeで配信したのですが、音声について会場スピーカーの音声をビデオカメラのマイクで拾ったのが非常に聴き取りづらかったとの意見多数あり。 8/27にZoomウェビナー配信のみの鹿児島・霧島・熊毛3支部合同研修を予定しています。県会研修部は講師派遣と運営の支援に携わりますが配信は業者に外注することから、研修部としてその技術・手法を学ぶ機会にしたいと思います。

沖縄会	12月に集合型研修を予定していますが、WEB配信研修に関しては検討中です。
-----	---------------------------------------

《協議事項》

23	WEB配信形式によるCPDの個別付与の手法についてお教えてください。(鹿児島会)
まとめ	議案13に記載のとおり。
提案理由	5/12のYouTube配信の際はGoogleフォームのアンケート機能で受講状況の管理を試みましたが、Googleフォームへの回答ができない、または回答できる環境がない等の意見があり現時点では公平性に欠けるとして断念しました。外に受講状況把握の良い手法がないかお伺いします。
福岡会	感想を記載した視聴報告書を提出してもらっています。
佐賀会	当会ではWEB配信形式による研修会の実績がありませんので、現在は研修会終了後に受講票を提出していただき、事務局で管理している状況です。今後WEB研修等を導入するとなれば、CPDの個別付与の手法は課題になってくると思われます。ご意見をお聞きし、今後の参考とさせていただきます。
長崎会	CPDポイント付与は、事前に出欠提出と当日の接続確認「ユーザー名と会員番号」で付与しています。アンケートや感想の提出は求めていません。
大分会	WEBEXを使用して、WEB参加の会員の参加状況を会場のモニターの画面でその都度確認しています。
熊本会	感想、質問等をアンケート用紙に記入し返送すればCPDポイントを付与しています
宮崎会	今後、Zoom配信等が整備されれば他県会の受講状況把握の取り組みを参考にし今後対応していきたい。
鹿児島会	8/27は支部研修ということもあり試験的に、ウェビナーの投票機能を利用して管理し個別付与をする予定です。対策として事前登録の手順書送付及び事前確認テストを行う予定です。
沖縄会	過去に行ったWEB研修では、業者をお願いしてWEB研修の設定をしてもらいました。その際、業者側でログイン状況から参加者を確認して、CPD付与を行いました。

《協議事項》

24	WEB配信の環境がない会員についてのケアはどのような対策をとっているかお教えてください。(鹿児島会)
まとめ	議案9に記載のとおり。
提案理由	当会は離島会員も多くWEB配信が安定すれば効果的なのですが、高齢会員の中には視聴する方法がわからない、そもそもネット環境が整っていない等ケアを必要とする会員も少なくありません。各会の対応をお教えてください。
福岡会	DVD等での貸し出しを行っています。
佐賀会	WEB配信の実績はありません。今後実施するとなれば、個別の環境設定への対応は大変だと思いますので、はじめのうちは支部単位で集合して行うのが現実的かと考えています。た

	だし、支部単位となると会場設営の問題も検討しなければならないと思います。
長崎会	アルカディア大村から配信を行っており、そこで受講することもできるようにしています。支部で場所を準備してもらうか、近くの会員に協力してもらえないのでは。
大分会	そういった環境の無い会員に対してのケアも含めての、集合形式とWEB形式の平行同時開催と考えています。また、同じ支部内の他の会員の事務所で参加してもらったりもしています。
熊本会	現在のWEB配信についての反対はないので現状で続行予定。
宮崎会	WEB配信の環境がない会員からのサポート要請は今のところ来ておりませんが、各自で努力してもらおうようお願いしている。
鹿児島会	研修部内、常任理事内で意見様々です。会費を使って計画することだから一人の取りこぼしもないようにすべき、いけるところはこちらから出向いて設定してあげるぐらいのことも必要との意見、または各自で努力してもらおう、近くの会員の事務所で視聴してもらおう等意見はありますがまだ方向性は定まっていません。
沖縄会	環境が整っていない会員についてサポートは必要だと感じますが、どのようにするかは決まっています。環境が整っていない会員については、調査士会で視聴を行うか、各支部長の事務所で視聴を行うか検討しています。

《協議事項》

25	コロナ禍での研修会開催の対応方法について（大分会）
まとめ	議案5に記載のとおり。
提案理由	コロナ禍において、全会員に平等に研修を受ける機会を提供する方法を検討していますが、独自に対応できている会があれば教えて頂きたい。
福岡会	動画配信、視聴報告方式により行っている。
佐賀会	例えば支部単位で会場を手配し研修ライブラリ等の映像を視聴するようなことも考えておりましたが、少人数会の当会ではマンパワーが足りず実際には行えていません。できれば、動画配信等行い全会員が視聴できるような機会を与えたいと考えています。
長崎会	現状ではWEB配信に参加できない場合の代替は用意していません。
大分会	DVDを提供して、課題や感想を提出してもらおう等を検討しようかと考えています。
熊本会	現在のWEB配信についての反対はないので現状で続行予定
宮崎会	オンライン研修を導入し全会員が平等に研修を受けられるよう整備拡充を図りたい。
鹿児島会	行政の指導、要請に応じて開催方法はその都度検討することにしていきます。当会は近年中に事務局老朽化に伴う移転も控えておりできる限りの経費削減を迫られていますので配信型をメインに考えるべきなのか、県会全体に問いかける必要を感じます。
沖縄会	現在行えていないので、参考にさせて頂きたいと思います。

《協議事項》

26	県外から講師が呼べない中での研修内容の工夫（大分会）
まとめ	研修内容については内部講師に依頼して研修会を開催したり、測量機器・ソフトメーカー等に依頼して研修を行うなどその様子は様々であった。会員が興味を持つような研修会を開催するためには会員個人からの情報提供や要望を聞き出すことも必要である。外部講師等に依頼しWEB配信する場合には、事前に撮影した動画を送ってもらうのか、担当理事が撮影に出向くのかなど考えなければならない新しい課題も出てきた。
提案理由	会の中で講師をお願いして対応するには、講師が偏りがちであり、内容も新しい技術や便利な知識などを紹介できず、魅力的な研修を計画できないため。
福岡会	昨年度のコロナ禍でも呼んで行いました。今年度も呼んで行います。
佐賀会	県内・近隣県の測量機器業者等に依頼して、最近の測量業界の動向や測量機器やソフトウェアの案内を依頼したことがあります。
長崎会	日調連の研修ライブラリを参考にしています。
大分会	土地家屋調査士業務取扱要領について、ベテランの先生方も聴講して頂けるよう、全体をより詳細に掘り下げた研修ができないかと検討中です。
熊本会	県外の講師に設備があれば録画しておくってもらう、また撮影者のみが県外の講師のところに撮影に出向く方法を計画しています。
宮崎会	当会会員・当会学術顧問に講師をお願いしているところです。今後検討していきたい。
鹿児島会	内部講師の育成と県内の地域性に特化した内容を検討しています。
沖縄会	複数名の会員からヒアリングを行い、その中から会員が必要としている情報を提供できるような仕組みづくりができればよいかと考えています。

《協議事項》

27	WEBを利用した研修で、配信を専門業者に依頼した場合のメリット、デメリットについて（大分会）
まとめ	専門家に依頼した場合、配信や接続のトラブルがなくなり、役員自体の負担軽減にも繋がるが、デメリットとして費用面での負担が非常に大きい。今後は単体会単独でも技術担当者の育成が課題となる。
提案理由	WEBに参加できない会員に対して、個別に対応する方法があれば教えて頂きたい。
福岡会	依頼したことはなくまだ検討中ですが、メリットはきれいで見やすくなると思いますが、デメリットは費用がかかることかと思えます。
佐賀会	WEB研修を実施した実績がありませんので、今度導入するとすれば、慣れないうちは業者に依頼した方が無難かと考えています。
長崎会	メリットは役員の負担が減少した。接続トラブルが無くなる。 デメリットは費用の面。一回11万円。 現状ではWEB配信に参加できない場合の代替は用意していません。

大分会	参加人数を制限した研修会を開催しつつ、その状況を自前でWEB配信を行っています。
熊本会	専門業者に依頼した場合、研修部の時間的負担が減る、画面上見やすくなる（レジュメやパワーポイントの画像をワイプで写せる）デメリットは財政的な負担が増えることです。
宮崎会	当会では、専門業者には依頼せずに「オンライン会議等委員会」に予算を組み、システム構築と実証実験を行いながら運用している。
鹿児島会	一度プロに外注しました。使用機材の性能が段違いで音声、動画がとてもクリアで受講者には好評でした。費用は約17万でした。今後は内部で技術担当者を育成し、必要な機材は購入しながらなるべく自前で運営していく予定です。
沖縄会	今後WEB研修は一般的な研修の形になると思うので、ノウハウを会として作っていきたいと思っています。業者に委託した場合のメリットは楽だが、デメリットとしてはお金がかかる、ノウハウが蓄積しない等だと思います。

《協議事項》

28	年次研修について（宮崎会）
まとめ	議案2に記載のとおり。
提案理由	全体研修会が厳しい状況にあり受講対象者の指名など、研修会の開催方法をどのように工夫しているか知りたい。
福岡会	県会主導での動画配信、視聴報告方式。（視聴レポート及び課題提出）ただし支部単位での実施可。（補助金制度あり）での実施。第1期の最終年度を未受講者の補講年に充てている。
佐賀会	今年度実施する予定ですが、初年度の受講対象者は23名です。受講対象者のグループ分けについては、若手からベテランをバランスよく配置して幅広い意見が出やすいように工夫する予定です。
長崎会	令和4年1月下旬に開催予定です。対象会員は約40名。方式としてDVDの視聴につきWEBEXによるオンラインによる映像配信を行い、各個人事務所にて受講してもらいます。接続を確認し、出欠確認を行います。グループ討論は実施せず、討論課題の解答を提出してもらいます。
大分会	会員を登録年度順に3～4組に分けて3～4年で開催し、残りの1、2年を未受講者のために充てたいと考えています。その場合、毎年40人から55人程度となり、グループ討論が6～9グループとなるため、コロナ禍での会場規模を考慮して検討中です。
熊本会	今年度はコロナ対策をおこない集合して行う予定です。
宮崎会	宮崎会は会員が約190名で、今年度は30人～40人規模で年次研修を開催する予定です。コロナ禍における状況が続く中はこのような研修スタイルで行く予定です。
鹿児島会	今年度は試験的に1支部で11月中旬に予定しています。来年度以降、支部総会と同時開催などまだ検討中です。他会の手法も是非お伺いしたいです。
沖縄会	令和4年1月に開催予定しており、約35名に分けて集合型研修で開催予定しています。コロナの状況では次年度を予定しています。会員全体に定期的に年次研修があることを発信す

	るようにしています。
--	------------

《協議事項》

29	過去に行った研修会のテーマ、今後予定しているテーマ(宮崎会)
まとめ	どの会も研修のテーマ選びには苦慮しているが、倫理や法規、業務に関連するタイムリーなテーマなどを選考し、偏った研修内容とならないよう考えながら開催している。会員には実務に直結する内容の研修が人気であるが、専門家として関連する法律等も重要であるため、満遍なく行う必要がある。
提案理由	毎回、研修テーマに苦慮している。他県の業務に関する問題点など参考にしたい。
福岡会	連合会のホームページに各会の過去の研修リストが載っている。(研修インフォメーション) 今後のテーマは検討中。
佐賀会	実務研修については基本的な基準点測量から最新のドローン測量、3Dスキャナーに至るまで出来る限り幅広くバランスよく研修するように心がけています。コロナの影響により外部講師を招くことが難しく、倫理や関連法規についての研修が行えていない状況です。外部講師を呼べるような状況になれば講師団名簿等を利用して研修内容と併せて選定したいと考えているが、現段階ではまだ今後のテーマも決定できていません。
長崎会	<p>貴会の回答を記載して下さい</p> <p>令和3年度 ①業務取扱領 (日調連 DVD) ②</p> <p>令和2年度 開催なし</p> <p>令和元年度 ①懲戒事例 (会員)、改正消費税 (国税局) 所有者不明土地問題 (群馬会 堀越義幸氏) ②完全オンライン申請 (会員)、調査士カルテMAP (ゼンリン)、ドローンやレーザー成果とGISの利用と不動産登記・地図の将来像 (広島会 山中匠氏) ③法改正、所有者不明、倫理、日調連の動向 (鈴木泰介副会長)</p> <p>平成30年度 ①神奈川県下外国人遊歩規程測量 (神奈川会 田村佳章氏)、不動産登記150年の歴史 (新井克美氏) ②アンガーマネージメント (もろおかたつあき氏)、ハラスメント (弁護士) ③不在者財産管理人制度 専門家としての損害賠償責任 (顧問弁護士)</p> <p>平成29年度 ①権利の客体としての土地 (日調連 DVD、コンピュータセキュリティ (トレンドマイクロ森岡忠男氏)、現況測量ネットワークRTK測量 (扇精光コンサルタンツ)、オンライン登記申請の利用促進 法定相続情報証明制度 筆界特定活用スキーム所有者不明土地 (法務局) ②オンライン申請 (大阪会 正井利明氏) ③書面の作り方～トラブル発生後を中心に (弁護士)</p> <p>平成28年度 ①地震に伴う測量 (会員)、空き家 (長崎県)、コミュニケーション研修 (愛知会 近藤正行氏)、②筆界確定訴訟所有権確認訴訟 (判事 富張邦夫氏)、筆界特定申請書筆界特定意見書にお願いするもの筆界特定事例 (法務局)、家屋被害認定調査 (会員) ③会員心得・倫理・懲戒処分 (日調連岡田副会長)</p> <p>平成27年度 ①三角点・水準点の今後とSSPマニュアル (国土地理院測地部 永田勝裕氏)、調査士業務における測量の基礎知識と豆知識及び地籍測量の変遷 (熊本会 島田宗雄</p>

	氏)、②3ブロック合同研修会報告(会員)、マイナンバー制度(会員)、契約書の法理と留意点(顧問弁護士)③不動産登記規則93条ただし書き報告書の様式の改定(会員)、UAVを利用したオルソ画像の作成とその活用事例(会員)
大分会	大分会でも個人情報保護法や、消費税軽減税率、空家特措法などタイムリーなテーマを過去に行っています。今後は連合会が作成するマニュアルについての研修等を予定しています。
熊本会	懲戒処分について、インボイス制度、民法・不登法改正、筆界特定制度について法務局側と調査士側双方からの講義、調査士法人メリット、デメリット
宮崎会	その時々タイムリーなテーマを役員会で決定したり、講師経験のある会員からの意見を主に取り入れて決定している。
鹿児島会	今まで倫理、業務、境界関連が多かったです。測量技術にて今後必要と思います。今後の予定は、①都市部の測量・鑑定(戦災復興・中心部再開発等)②山間部の測量・鑑定(立木の植生、生育状況からの境界鑑定、誤伐盗伐防止、ダンゴ字図地区の地籍調査等)です。
沖縄会	次回予定している研修会のテーマは下記になります。 ① 1人でも設立できるようになった調査士法人について ② 法律改正のあった民法について